一般助成 災害復興コミュニティ支援

「東北大学生による被災地に 寄り添うプロジェクト」事業

被災地で不足する若い力を補う活動を通して避難指示解除で再出発する地域を活気づける

東京電力福島第一原発事故により、いまだに帰還困難なエリアが残る福島県浜通り地区だが、徐々に避難指示が解除されつつある。当地の避難住民に寄り添うボランティア活動を続けている東北大学の学生団体が、コロナ禍で現地での活動が制限されるなか、若い働き手として楢葉町にある田んぼでの稲刈りの手伝いを行った。





東北大学の学生団体が楢葉町にある田んぼでの稲刈りの手伝いを実施

2013年から主に福島県浜通り地区の避難住民を対象に様々な支援を継続

「東北大学福興 youth」は、2013年に東北大学の東日本大震災学生ボランティア支援室内に福島部門として誕生し、2015年から現名称を名乗るボランティア団体で、現在、東北大学生17名で活動を続けている。元々、東日本大震災および東京電力福島第一原発事故によって、甚大かつ複合的な被害を受けた福島県浜通り地方において、避難生活によるストレスや仮設住宅での人と人との繋がりの希薄さによって抱える孤独感が問題となったことを受けて発足した団体で、①福島県内の被災地・災害公営住宅などにおけるイベント企画・運営、および傾聴ボランティア、②福島県内の被災地復興に向けた各種取り組みに参画

する他団体との交流、③主に東北大学生を対象としたツ アープログラム (研修旅行) の企画・実施などの事業を行っ ている。

同団体では2020年度の活動の一環として、10月3日に福島県双葉郡楢葉町の木戸にある古民家で行われた稲刈りに参加した。当日は、団体のメンバー6名に加え、現地の方と、別途参加した留学生合わせて計20名程度での活動となった。稲刈りをした水田は、元東京電力社員で現在、一般社団法人AFWの代表理事を務める吉川彰浩さんから紹介されたもので、これまでも同団体では原発事故の概要や地域の課題について教えていただくなど、たびたび吉川さんにお世話になってきた。その吉川さんからの誘いもあり、前年度に続き、2回目の稲刈りの参加となった。

楢葉町は原発事故による人口減少率が非常に高く、高齢化も進んでいる。加えて、この田んぼでは機械に頼らず全て人力で栽培を行っていることから、若者の人手不足の問題も深刻となっていたため、その解消の一助になればということで、稲刈りの手伝いをすることにした。

コロナ禍の中でのボランティア活動で 被災地の農業の現状の一端を実感

新型コロナの影響により、直接、福島の現地へ赴いて活動する機会が限られるなか、この稲刈りの手伝いは同団体にとって、現地視察に留まらず、地域住民の方々や他のボランティアの方々と直接交流することができた唯一の活動だった。また、2020年度から同団体に参加したメンバーにとっては初めてのボランティア活動であり、実際に現地で活動することで分かることや感じることがあり、今後の事業内容を考えるうえで大いに参考になったという。

「震災があってから、楢葉町ではますます過疎化が進み、

農業に従事する若い世代がより減少している。よって私たちのような外部の人間が農業体験をさせていただくことで、 震災後の農業人口の現状を特に若い世代に伝えていきたい。一方で実際に農業を体験することで、私たちが普段、何気なく食べている米を作ることがいかに大変なことなのかを改めて実感した。現地の住民の方々にとって、田んぼは長い間慣れ親しんできたものであり、その喪失は心のよりどころや生きがいを失うことでもある。震災や原発事故などの災害がもたらす精神的な苦痛は、自分たちの想像以上であることに気づいた」と、事業の担当者は話す。

今回の助成は、主に現地を訪れるためのレンタカー代に使われた。同団体の活動場所は福島であり、大学のある仙台から遠いため、特に移動にかかる金銭面の課題が大きい。また、2020年度はコロナに対する感染予防として車の乗車人数を抑える必要があり、通常よりも多くの台数が必要となったが、今回のPOSCの助成がなければ、その費用を賄うことは難しかったという。





米作りは想像以上の重労働で農業の苦労を学んだ貴重な体験となった

助成団体:東北大学福興youth

https://fukko-youth.tumblr.com/



コロナ禍にもかかわらず活動ができ、助成に感謝いたします

コロナ禍の影響により、現地の受け入れ体制が申請時点とは大きく異なり、事業に大幅な変更が生じました。このような情勢のなかで一つでも活動を行うことができたのは、弊団体にとってとても大きな意味がありました。POSCにはその活動を支えていただき、また再三の変更にも応じていただき、ありがとうございました。

東北大学福興youth 代表 大内 拓己さん